

Ⅲ 文化活動の状況

ここでは、市民会館、公民館、図書館及び体育館を除く社会教育の諸活動を述べます。この分野には、社会教育全般の事務と、文化財関係、青少年問題協議会関係の事務、事業があります。

1 奨励・援助

市民の皆さんの行う社会教育の諸活動に対して、要望に基づいて各種の援助を行った。

(1) 社会教育関係団体の状況

分類	団体名	責任者	会員数	組織及び活動
少年 団体	ボーイスカウト 福生第1団	天田文雄 (本町2) 51-1571	360	○育成会 団委員会 カブスカウト ボーイスカウト シニアスカウト ○舎営 キャンプ 団運営会議 指導者養成
青年 団体	福生市青年団体 連絡協議会	田口正弘 (加美平3-13-5)	100	○単位サークル ○定例会 ○宿泊研修会
婦人 団体	福生生活学校	天田君子 (本町2) 51-1571	105	○第一、第三生活学校 ○定例的学習活動
成人 団体	福生市文化連盟	森田潤三 (熊川858) 51-5418	2,100	○単位サークル75 ○役員会 文化祭 文化教室 ○単位サークル活動助成 ○ " 発表会
	福生市文化財 調査会	森田潤三 (同上)	20	○福生市文化財に対する基礎研究
	福生螢保存会	田中達治 (南田園3-13-6)	30	○上水のホタル及びホタル公園のホタルの保護育成
	福生市 P. T. A. 連 合 会	高橋正良 (福生2,454) 52-0056	6,020	○単位 P. T. A. 8 ○研修会 講演会 球技大会

2 委員会活動

(1) 社会教育委員会

社会教育委員制度は、社会教育法に基づいて設置された市民参加の形態であり、当市は、昭和37年以来、任期2年、定数10名以内で構成されています。本委員会では社会教育全般にわたる調査、研究、計画の立案、教育委員会からの諮問に答える答申を教育長を通じて教育委員会に市民の立場から行う諮問機関です。

昭和54年度のうごき

- 昭和54年5月7日（月） 国立市役所

東京都市町村社会教育委員連絡協議会定期総会

- 昭和54年5月8日（火）

社会教育委員会議

社会教育関係団体に対する補助金の交付について（諮問）

- 昭和54年6月13日（水） 田無市中央公民館

東京都市町村社会教育委員連絡協議会役員会（第1回）

昭和54年度事業計画（案）について

- 昭和54年6月28日（木） 羽村町役場

都市社連協第1ブロック研修会準備会

- 昭和54年7月16日（月）田無市中央公民館

都市社連協役員会（第2回）

ブロック研修ならびに全体研修会について

- 昭和54年7月30日（月）

社会教育委員会議

社連協第1ブロック研修会について

資料館の説明について

- 昭和54年8月24日（金） 羽村町公民館

社連協第1ブロック研修会

「我が地域における社会教育の当面する課題」

- 昭和54年9月12日（水） 田無市役所

都市社連協役員会（第3回）

全体研修会について、他

- 昭和54年10月4日（木） 立川社会教育会館

多摩地区社会教育委員全体研修会

○昭和54年11月20日（火） 立川社会教育会館
都市社連協役員会 社会教育活動調査について

○昭和55年1月30日（水）

社会教育委員会議

新委員紹介、各施設現況報告ほか

○昭和55年3月14日（金）

都市社連協役員会 定期総会について

(2) 文化財保護審議会会議

審議会は、委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議し、並びにこれらの事項について委員会に建議する。

昭和54年6月5日（火）

① 福生市文化財保護審議会正副会長の選出

② 昭和53年度文化財保護事業の報告

昭和54年8月13日（月）

① 仮称資料館の展示室について

昭和54年10月17日（水）

① 仮称資料館の展示室における資料の展示について

昭和54年12月21日（金）

① 昭和54年度文化財保護事業の実施状況について

————— ＊ —————

文化財保護審議会委員 木村龍生氏 昭和54年4月19日死去 委員を解く

————— ＊ —————

福生市指定有形文化財 熊川神社本殿

附 棟札三枚 慶長2年の記のあるもの 1

正保3年の記のあるもの 1

寛文11年の記のあるもの 1

は、昭和55年2月21日付をもって東京都指定有形文化財に指定されたため、昭和55年3月3日付福生市教育委員会告示第1号をもって、市指定を解除する。

(3) 福生市青少年問題協議会

青少年問題協議会は、市長の付属機関であり青少年問題に関する総合的施策の樹立について調査審議し、関係行政機関相互の連絡調整を図り、関係行政機関に意見を述べるための組織です。

昭和54年度での協議会の会議内容及び青少年対策事業は次のとおりです。

昭和54年 5月8日 幹事会

- 青少協の概要について
- 昭和54年度青少年対策事業方針について
- 青少協だより発行について
- 昭和53年度地区委員会の活動のまとめ
- 家庭の日図画、作文募集について
- 福生駅前立看板の設置について

6月20日 地区委員長会

- 7月の協議会の事前打ち合わせ

7月11日 幹事会

- 7月の協議会の事前打ち合わせ

7月18日 協議会

- 一声運動の実施について
- 関係機関の夏季施策について
- 青少年の社会参加活動推進事業のモデル地区の指定について
- テレビゲーム（インベーダーゲーム）対策について
- 昭和53年度地区委員会実績について
- 家庭の日図画、作文募集について
- 福生駅前立看板の設置について

7月18日 地区委員長会

- 一声運動の実施について
- テレビゲーム（インベーダーゲーム）対策について
- 七夕期間の非行防止について

10月5日 幹事会

- 11月の協議会の事前打ち合わせ

10月15日 地区委員長会

- 11月の協議会の事前打ち合わせ

11月12日 協議会

- 一声運動の反省について
- 不健全図書追放運動について
- 青少年の社会参加活動推進事業の活動経過について

- 昭和54年度青少協のまとめ（中間）
- 青少協昭和55年度計画について
- 家庭の日図画、作文の入選について
- 11月19日 地区委員長会
 - 不健全図書追放運動の展開について
 - 家庭の日図画、作文の入選について
- 12月10日 地区委員長会理事会
 - 不健全図書追放運動について
- 昭和55年2月12日 幹事会
 - 2月の協議会の事前打合わせ
- 2月15日 地区委員長会理事会
 - 2月の地区委員長会の事前打ち合わせ
- 2月26日 地区委員長会
 - 2月の協議会の事前打ち合わせ
- 3月5日 協議会
 - 不健全図書追放運動の反省について
 - 昭和54年度事業のまとめ
 - 昭和55年度計画案について
- 3月29日 地区委員長会
 - 家庭の日について

一声運動について

- (1) 運動の期間 7月～8月（夏休み期間）
- (2) 要項及び手びきを関係者に配布 要項1,500枚 推進の手びき3,000枚
- (3) 広報 市広報 広報無線による市内放送、広報車による市内PR、市内全世帯にチラシの配布17,000枚、福生駅前に高さ約5メートルの看板を設置
- (4) その他のPR ビニール看板130枚（地区委員会設置）、各種会合でのPR活動
- (5) 一声運動の反省、意見等
 - 一声運動も小学生には声をかけやすいが中学生になるとなかなか声がかけにくい、しかし公園などで遊んでいる子供に声をかけてみるとすなおに聞いてくれる。
 - 中学生のPTAの役員から聞いた話では、中学生位になると一声かけられてもすなおに返事はできないけど後でありがたいと思っている。
 - 一声運動でもより効果を上げるため、地区委員会、PTAだけでなく学校側の校長会、

教頭会、校外指導連絡会などの機関をもっと利用し、なお一層の効果を上げていただきたい。

○地域で問題を起すのは、地域の子供たちではなく、他の地域や他市の子供が起す場合が多い。

不健全図書追放運動について

- (1) 運動の期間 11月～12月
- (2) 運動の主体 地区委員会 P T A 町会等
- (3) 要項及び手びきを関係者に配布 要項1,500枚 推進の手びき 2,000枚
- (4) 広報 市広報 広報無線による市内放送 広報車による市内PR 市内全世帯にチラシの配布17,000枚
- (5) その他のPR ビニール看板 160枚(地区委員会で設置) 木製看板(高さ約2メートル 三面看板)30個を市内に設置 各種会合でのPR活動 シールの配布
- (6) 設置状況

年度	設置台数	運動による撤去	期間中の増	差引台数	備 考
51	14	5	0	9	
52	9	4	4	9	
53	9	3	2	8	
54	11	1	2	12	

12台の内3台は、不健全図書は販売されていない(55年2月)

家庭の日について

- (1) 家庭の日要項を関係者に配布 地区委員会 各種団体
- (2) 広報 市広報 チラシの配布 シールの配布
- (3) その他のPR ビニール看板(95枚 地区委員会で設置)
- (4) 各種会合でのPR活動
- (5) 家庭の日 図画、作文の募集

応募者 図画 小学生 47人 中学生 4人

作文 小学生 37人 中学生 3人

図画については、佳作以上の作品を市役所1階に掲示。作文については、二席以上の作品を青少協だよりに掲載。

青少年問題講座「非行を考える」

プログラム 全5回

参加者 80人

場所 福生市公民館

日 時	テ ー マ	内 容	講 師
2. 29 3. 7	子どもの現状と 非行の実態	今日の子どものめぐる状況を明らかにし、 その中で非行の実態を見、今日の非行の特 徴を明らかにする。	佐 野 健 吾 氏 (東 京 家 裁)
3. 14	家 庭 と 非 行	高校の現場から非行の問題に対して親にど うあってほしいか、家庭の中で親の問題を 考える。	中 島 宗 夫 氏 (都立秋川高校教諭)
3. 19	子 ども と 人 権	子どもがすこやかに育つには、子どもの人 権をどう保障していくかを考える。	白 島 敬 三 氏 (東京家裁八王子支部)
3. 29	非行をのりこえるために ー地域に子育ての場をー	学校、地域、子ども、父母が一諸になって 地域の非行をのりこえる手だてをさぐる。	高 安 正 平 氏 (江 北 中 学 教 諭)

福生市民のつどい 市制10周年を記念して NHKと共催

子どもの成長のために 「小学生をもつおかあさん」

親子のあり方が問われている昨今、子どもの成長に応じた親の役割はいかにあるべきかにつ
いて次のように実施した。

日 時 2月8日(金) 会 場 市民会館小ホール

テーマ 「子どもの成長と親の役割～望ましい親子像」

講 師 作家 早乙女勝元氏 参加者 230人

昭和54年度青少年問題地区委員会の主な事業

地区名	委員数	児・生徒数	地区活動の主なもの	委員会数	活動数	計	参加 延人数
熊川住宅	11	307	多摩川の清掃 花火大会 盆踊り大会 青少年問題講演会		5	5	1,050
南	21	115	春・秋の交通安全運動 多摩川の清掃 青少年問題講演会 パトロール	2	10	12	500
内出	16	158	多摩川の清掃 青少年問題講演会 秋の交通安全運動 歩け歩け運動	9	11	20	825
武蔵野	25	164	多摩川の清掃 防犯パトロール ラジオ体操 青少年問題講演会	6	8	14	1,284
福東	14	278	春の交通安全運動 ソフトボール大会 防犯パトロール NHK・明治神宮見学		19	19	1,914
鍋1	35	422	非行化防止映画会 防犯パトロール バーベキュー大会 落花生掘り	9	8	17	698
鍋2	25	372	ソフトボール大会 非行化防止懇談会 青少年問題講演会 歩け歩け運動		11	11	1,216
玉川台	25	60	ラジオ体操 花火大会 落花生掘り ハイキング もちつき大会	3	6	9	730
富士見台	11	175	ラジオ体操 懇談会 防犯パトロール キャンプ もちつき大会	1	9	10	1,015
福栄	13	248	大相撲大会 運動会 町内清掃 クリスマス会 たこ上げ大会	3	31	34	4,283
熊牛	16	409	青少年問題講演会 非行化防止座談会 青少協ニュース発行	12	8	20	884
牛1	11	191	春の交通安全パトロール ラジオ体操 映画会 落花生掘り クリスマス会	2	8	10	868
牛2	25	273	レクリエーション大会 映画会 防犯パトロール 球技大会 クリスマス会	4	24	28	3,676
原ヶ谷戸	20	318	盆踊り大会 防犯パトロール 地区懇談会 キャンプ 広報掲示板設置	2	11	13	525
志茂1	25	185	春・秋の交通安全運動 ハイキング 地区懇談会 もちつき大会	5	4	9	340
志茂2	26	206	防犯パトロール 春・秋の交通安全運動 青少協座談会 映画会	2	38	40	4,911

地 区 名	委員数	児・生徒数	地 区 活 動 の 主 な も の	委員会数	活 動 数	計	参 加 延 人 数
永 田	9	90	危険物の回収 柳山公園の清掃 歩け歩け運動 ごみ減量運動		17	17	587
長 沢 1	18	70	防犯パトロール キャンプ 親子運動会 プール遊び ハイキング	3	8	11	690
長 沢 2	21	104					
加 美 1	15	75	かくし芸大会 非行化防止懇談会 おばけ大会 防犯パトロール 球技大会	1	16	17	475
加 美 2	25	320	防犯パトロール 盆踊り大会 球技大会 肝だめし 運動会 もちつき大会	1	10	11	1,993
本 町 1	10	52	ラジオ体操 バーベキュー 懇談会 写生大会 いも掘り	8	13	21	598
本 町 2	19	42	町内非行化防止パトロール 非行化防止懇談会	2	6	8	251
本 町 3	23	25	防犯パトロール キャンプ バーベキュー アイススケート プール遊び	2	13	15	287
中 央	16	62	ソフトボール・バレー大会 防犯パトロール 春・秋の交通安全運動 ラジオ体操	4	17	21	750
本 町 6	26	95	防犯パトロール ラジオ体操 福生駅前道路清掃 盆踊り	4	5	9	395
本 町 7	18	353	春・秋の交通安全運動 盆踊り大会 非行化防止座談会		9	9	883
本町8第1	17	407	春・秋の交通安全運動 非行化防止懇談会 水泳大会 映画会	7	14	21	4,248
本町8第2	19	310	春・秋の交通安全運動 つり大会 防犯パトロール クリスマス会	6	11	17	2,865
加美平住宅	14	604	運動会 青空コンサート ソフトボール大会 ラジオ体操 文化祭		11	11	4,470
合 計		6,490		98	361	459	43,211

3 文化財保護事業

(1) 文化財保護行政の役割と現況と目標

① 文化財保護行政の役割

1970年代における文化財の保護と開発をめぐる混乱と対立は、文化財保護に対する充実と強化のための法の改正を行うに至らしめた。

本市においても、昭和54年4月1日より従来の市文化財保護条例を全部改正し、急激な社会的変動に対応しうる制度の整備を図った。

国民の財産であり、祖先の文化遺産である文化財は、国民一人々のそれに対する自主的な保護活動が行われることが望まれるが自治体としては、それを要求する社会の情勢にこたえて、積極的に保護活動に取り組むことが緊急の役割とされよう。

行政の役割は、今回、制定された市文化財保護条例の目的に、「保存及び活用のため必要な措置を講じ、もって市民の文化的向上に資するとともに、我が国文化の進歩に貢献する」とあるように、私達の祖先の文化的活動の所産である文化財を私達の未来への指針として活用し、また、それらを後世の子孫に伝えるための様々な活動を行うことに置くべきである。

② 文化財保護行政の現況と目標

(ア) 福生市の現況

1970年代の急激な地域変貌は、有形・無形の文化財の破壊をもたらした。特に人々の生活の変化にともない、民俗文化財の消失は著しく、また、埋蔵文化財、自然環境の破壊も急であったと言えよう。本市においては、昭和48年に市文化財保護条例が制定され、以後12件13点の市文化財指定を行い、保護するとともに、市文化財総合調査体制を発足し、各種文化財の所在確認及び記録作成を行ってきた。

本年4月1日には、市文化財保護条例を改正し、文化財保護の充実と強化を図った。これによって、今後、保護活動は大きな前進をすると思われる。

(イ) 福生市の目標

今後、益々進むと思われる都市開発、生活様式の変化、伝承者の消失、等に対処するため、文化財の所在確認、記録作成を早急に進め、資料の収集・保存と併せて実施する。また、国民の共通的財産である文化財の保護は、市民一人々の保護意識の確立が必要である。そのために、文化財保護思想の啓蒙と普及のための活動を実施する。

郷土・文化の正しい理解と認識、自然の正しい理解と認識は、将来の豊かな地域文化向上発展の基礎をなすものである。

(2) 文化財保護事業方針

文化遺産を市民とともに保護・保存し、活用をはかり、市民自身によるそれらの保護・保存

と活用のための学習意識・学習活動に対して、様々な奨励・援助と機会の設定を行う。

また、文化財に対する市民の関心をたかめるための主催事業の充実と強化を図り、あわせて、それらの活動を推進するための条件整備の確立に努める。

- ① 市民に対する文化財保護思想の啓蒙と普及をはかる。
- ② 市民や団体の文化財保護に対する様々な活動に対し、奨励・援助を行うとともに機会の設定に努める。
- ③ 日々、消失して行く様々な文化財を収集し保存する。
- ④ 文化財総合調査を実施し、記録としての保存を行う。
- ⑤ 調査・研究の成果を報告書等の刊行によって公表する。
- ⑥ 私達の環境を豊かにし、人間の活動をささえている自然の保護に努める。
- ⑦ 市内における重要な文化財については、市文化財として指定し保護する。
- ⑧ 教育委員会事務担当部局内における文化財保護行政事務等の整備・確立を行う。

(3) 昭和54年度 文化財保護事業の活動状況

① 文化財総合調査の実施状況

(ア) 民俗調査（生業、諸職、民具）

調査員 川鍋幸三郎、加藤策夫、増田昭子、常民研究会（木村龍生、塚本利昭、中島信明、桜井清美、伊藤鉄也、福原敏男、藤塚悦司）以上敬称略

報告書の作成

昭和51年度より開始した、民俗調査（生業、諸職、民具）についての報告書を作成。

“福生市文化財総合調査報告書12”

(イ) 文書調査

調査員 福生古文書研究会（高崎勇作、峰岸秀雄、立川愛雄、加藤有孝、宮田 満）

調査文書 石川元八家所蔵文書、内出英雄家文書、

文書の写真撮影、文書目録の作成

(ウ) 植物調査（草本類調査）

調査員 宮岡一雄、栗原 仁、増岡一夫、滝上泰男、福地 亨、大串曄子

調査地 多摩河原 本年度において調査終了

(エ) 動物調査（水生生物）

調査員 田中和明

調査地 多摩川

昭和55年度以降に予定している本調査のための予備調査

② 報告書等の刊行事業

「福生市の民俗（生業・諸職）」

昭和51年度より調査を行っていた、生業と諸職に関する調査結果であり、「福生市文化財総合調査12」である。

③ 文化財の指定

昭和53年7月11日付で指定（市重宝、条例改正により市指定有形文化財）した、熊川神社本殿、附棟札3枚（福生市熊川660番地）が昭和55年2月21日付をもって東京都指定有形文化財に指定されたため、昭和55年3月3日付、福生市教育委員会告示第一号をもって、市指定を解除した。

④ 文化財資料等の収集保存事業

寄贈者及び資料

沢井 貞興 氏	民俗資料
渡辺 継二郎 氏	〃
笹本 太郎 氏	〃
古谷 格治 氏	〃
田中 清松 氏	〃
清水 平八 氏	〃
鳥海 正二郎 氏	〃
設楽 清一 氏	〃
田村 茂雄 氏	〃
佐藤 正一 氏	〃
井上 正和 氏	〃
峰岸 秀雄 氏	歴史資料
森田 秀雄 氏	考古資料
笹本 美重 氏	民俗資料
山形 初男 氏	地質資料
石川 慶一郎 氏	歴史、民俗資料
関根 正文 氏	考古資料
後藤 福造 氏	民俗資料
高崎 勇作 氏	生物資料
石川 繁治 氏	民俗資料
高水 茂一 氏	民俗資料

指田 保雄 氏 地質資料

田中 達治 氏 民俗資料

⑤ 奨励・援助等

福生市文化財調査会、ホタル保護研究会、福生古文書研究会、その他、市民、機関等に対する情報の提供、印刷援助等の諸活動を行った。

⑥ 文化財保護思想の普及啓蒙事業

(ア) 古文書講座（初心者） 前期

“血のかよった郷土資料を読もう”

草むらの中から、足もとからものをつくりかえていくという思想。それが支えになって足で歩いて書くレポートをつくる。そのような出版物は、たいていの場合、庶民の語りをきき、それを裏づけるための市町村の文書をひもとき、さまざまな裏づけ調査をしている。そのような血のかよった郷土資料づくり、それが自腹を切って行われる自費出版であろうとなかろうと、きわめて大切な文化創造のあり方ではなかろうか。

（芳賀 登著「郷土資料とは何か」地方史マニュアル4より）

講 師 北原 進 （立正大学教授）

日 時 5月9日（水）より全10回 午後7時20分より9時20分まで

会 場 扶桑会館

読解史料 慶応の武州一揆関係の史料を使用します。

開 催 状 況

1	5月9日（水） 午後7時20分～9時20分	古文書入門	古文書講座の開講にあたって初心者が知っておくべき基礎知識について
2	5月23日（水）	読解演習1	慶応武州一揆、関係史料の読解
3	6月13日（水）	読解演習2	〃
4	6月27日（水）	読解演習3	〃
5	7月11日（水）	読解演習4	〃
6	7月25日（水）	読解演習5	〃
7	8月8日（水）	読解演習6	〃
8	8月22日（水）	読解演習7	〃
9	9月12日（水）	読解演習8	〃
10	9月26日（水）	読解演習9	〃

参加者 延べ人数 195人

古文書講座（初心者） 後期

— 武州一揆と社会相 —

文化財は、私達の祖先がのこした文化的活動の足跡であり、それは国民共有の財産でもあります。それらを私達は現代に活用し、また未来へ伝承することは、現代に生きる者の使命ではないでしょうか。

この講座は、文化財の保護のために開催するものであり、一人でも多くの方に関心を持っていただくことを主目的としています。地域にのこされた古文書を読むことによって、祖先の生活、社会の成り立ちを理解し、現代に活用し、地域社会の文化創造に役立つことを願います。

54年度において、すでに前期の古文書講座を5月9日より9月26日までの全10回開催しておりますが、後期の講座は、主として幕末における関東、多摩地域の社会の歴史的様相の理解という点を目的に学習したいと思います。

講 師 北原 進 先生（立正大学教授）

会 場 扶桑会館

使用史料 「慶応の武州一揆についての書き付け」

五日市町 来住野家文書

開 催 状 況

1	10月24日（水）	午後7時20分 ～9時20分	慶応の武州一揆と幕末の社会
2	11月14日（水）	〃	〃
3	11月28日（水）	〃	〃
4	12月12日（水）	〃	〃
5	1月23日（水）	〃	〃
6	2月13日（水）	〃	〃
7	2月27日（水）	〃	〃

参加者 延べ人数 108人

(イ) 婦人の歴史教室（春季教室）

原始時代の多摩地域を考える

市教育委員会では、文化財保護の充実をはかるためその保護思想普及のために種々の事業を実施しています。

この教室は、歴史を学ぶ中から文化財に対する認識を高めるために企画開催されるものです。

昭和52年度から開催され、53年度までに日本史全般（古代末期～近世）を学習しました。本年度は、年間3回（春・夏・秋・季・各4回）の開催を予定しています。

春季婦人の歴史教室は、原始時代をテーマにとりあげてみました。市内には、現在、16ヶ所の埋蔵文化財散布地（遺跡）が指定されています。それは、縄文時代のものがほとんどです。多摩川流域周辺には、旧石器時代から古墳時代までの様々な遺跡が発見されており、様々な文化が存在していたことが確認されています。

原始時代の人々の生活、そこで用いられた道具、特に、縄文土器の文様と器形の美しさ、などについて平易な解説とスライドなどを用いて講義をすすめます。

教室開催日程

1	5月7日（月） 午前10時～正午	考古学入門	考古学一般に対する概要と多摩地域の考古学調査等の現況について。 講師 C・T・キーン氏
2	5月14日（月） 午前10時～正午	先土器時代の 生活と文化	縄文時代に先き立つ旧石器時代の様相をのこされた遺物から考える。 講師 C・T・キーン氏
3	5月21日（月） 午前10時～正午	原始人の生活	縄文時代の生活を衣・食・住にわたって復元考察します。 講師 塩野 半十郎氏
4	5月28日（月） 午前10時～正午	私と考古学	講師が多年にわたって調査してきた考古学について印象深い出来事を語っていただきます。 講師 塩野 半十郎氏

参加者 延べ人数89人

婦人の歴史教室（夏期）

テーマ “日本の伝統文化を考える”

— 日本文化史 —

春期婦人の歴史教室では、“原始時代の多摩地域を考える”と題して特に、旧石器時代及び縄文時代について学習しましたが、夏期は、日本の伝統文化をテーマに設定しました。現在、私達に伝承されてきている様々な日本の伝統的な文化の来歴、その発生の必然性と現代における意義などについて学習したいと思います。

今に引き継がれている伝統文化は、能、茶の湯、華道、和歌、など非常に多彩なものがありますが、それらは、戦いに明け暮れた戦国の武士達に受容され、展開されてきたものもたくさんあります。現代に生きる私達と日本文化の関係、後世への伝承の必要、などを考えるヒントにしたいと思います。

全4回
講 師 米原正義先生（国学院大学教授）
会 場 扶桑会館

教室開催の日程

1	7月5日（木） 午前10時～正午	日本の伝統文化を考える
2	7月12日（木） 午前10時～正午	”
3	7月19日（木） 午前10時～正午	”
4	7月26日（木） 午前10時～正午	”

参加者 延べ人数 116人

婦人の歴史教室（秋期）

— 年中行事と地域の生活 —

文化財は、私達の祖先がのこした文化的活動の足跡であり、それは、国民共有の財産でもあります。

それらを私達は、現代に活用し、また、未来へ伝承することは、現代に生きる者の使命ではないでしょうか。

この教室は、文化財の保護に役立てるために開催するものであり一人でも多くの方に関心を持っていただくことを主たる目的としています。

今回は、地域の民俗を理解し、私達の日常生活を見直してみたいと思います。

（祝 宮静 著 「日本の民俗行事」 （桜楓社））

民間の習俗として定期的にいとなまれた行事の意義を上層社会における年中行事によって説明することのできる場合もある。しかし、その多くは一般民衆の信仰生活を基盤としているものであったからそこに重点を置いて考えてみるのが肝要である。春、夏、秋、冬のうつりかわりが、わりあいはっきりしている日本の風土。それを背景として定着した農耕生活。そして、そこから導き出された素朴な信仰。それらの永い年月にわたるかわりあいを踏まえて、民俗行事が名もなき一般民衆の年中行事として育てられてきた経緯を理解しなければならない。

開 催 の 日 程

1	10月8日(月) 午前10時～正午	生 活 と 行 事
2	10月15日(月) "	"
3	10月22日(月) "	"
4	10月29日(月) "	"

講 師 河上 一 雄 先生 (都立富士高校教諭)

会 場 扶桑会館

使用副本 「福生市文化財調査報告書・福生市の民俗」

参 加 者 延べ人数 108人

(4) 郷土資料室開設準備事業

昭和55年4月2日に開館を予定している。福生市立中央図書館内郷土資料室の開設準備を行った。

4月 52年策定の“博物館基本構想”、“活動計画”に基づく“展示計画”を作成し、資料、文献等の収集と把握を行う。

5月 設計業者と、“展示基本構想”の作成を始める。

観客対象の設定、展示情報の展開内容、展示資料の概略、展示手法の概略、等について検討する。

6月 “展示基本構想”を決定し、“展示基本設計”のための調整を行う。

資料のリストアップ、資料の内容確認、展示情報の確認、ジオラマ、模型制作のための調査を行う。

7月 展示方針の決定、資料カードの作成、資料分析調査を行う。

8月 “基本設計の承認”と“実施設計”の作成を始める。

9月 展示資料の収集、解説、図表等の作成。

10月 展示資料の収集、解説、図表等の作成、展示資料 具体的形状、寸法の把握。

11月 “実施設計”の承認、映像資料等の調整。

12月 展示室工事の開始

1月 展示資料の最終確認、解説情報との関連性の最終確認

2月・3月 最終チェック、資料類の取り付け作業、ランニングテスト、開館準備。

4 大 会

第10回 福生市民文化祭（基本要項）

1. 趣 旨 (1) 市内で行われている文化諸活動の成果の発表の場をつくり、今後の発展を期待するとともに
(2) 未参加者の文化諸活動への参加、各種活動への生成を促す。
2. 主 催 福生市、福生市教育委員会、福生市文化連盟
3. 実行組織 実行委員会
構成 (1) 文化連盟役員
(2) 出展、出演団体の代表者
(3) 教育委員会社会教育課、市民会館、公民館職員
4. 期 日 11月3日(土) 4日(日) 5日(月) 10日(土) 11日(日)
5. 場 所 展示関係 市民会館、公民館、福社会館
演示関係 市民会館、大・小ホール
6. 実施内容 種目数については、ほぼ前年通りとする。

プログラム

分 類	日	種 目	時 間	会 場	内 容	主管団体
-----	---	-----	-----	-----	-----	------

開場式を11月3日(土)に行う 時間 午前9時30分

会場 市民会館小ホール

7. 運営方針 (1) 全般的事項(開場式他)は主催者が担当する。(別紙)
(2) 全般的事項以外は主管団体が処理する。
ア 同種のものについては、主管団体が相互に協力して実施する。
イ 個人及び団体の一般からの出展、出演については既に主管団体があるものはその団体が、種目のない団体はその団体が主管し、個人は教育委員会が主管する。
8. 参加内容の限定 (1) 市民の活動であること。
(2) 市民を対象とした文化的事業であること。
9. 参加募集 全市民(個人及び団体)とし、1人1点に限定する。

第10回 福生市民文化祭(全般的事項)

1. 全般的事項
(1) 基本要項の決定

- (2) 開場式関係 11月3日(土) 9時30分

開場式、プログラム別紙

(3) 準備過程

ア 広報 (カ) 公募 9月15日 広報(申込方法)

申込〆切 9月26日(別に様式)

(イ) 日程内容の周知

広 報 10月15日広報

10月25日お知らせ

ポスター10月1日から150部

日程表の配布 10月初旬

小・中学生及び主管団体 6,000枚

(ウ) 総合プログラムの作成と配布 2,500部

申込書に原稿(別に指定する様式)をそえて9月26日までに提出

イ 案内状 招待者(プロと一諸)

主管団体毎の招待は、各団体で行う。

ウ 主管団体必要物品

(カ) 指定様式に記入提出 10月中旬

(イ) その他の必要品

エ 役員委嘱 役員構成

オ 委託料の交付

2. 準備会 9月10日(月)

(1) 基本要項の打合せ

(2) 準備委員会

ア 基本要項 全般事項の確定

イ 出品、出展関係 申込書他手続打合わせ

(3) 実行委員会 ① 10月3日(水)

会場決定 全申込者(個人除く)

(4) 実行委員会 ② 10月26日(金)

最終準備打合わせ 全申込者(個人含む)

第 10 回 福 生 市 民 文 化 祭
日 程 表 1 （ 展 示 関 係 ）

- ・展示日 11月3日(土) 4日(日) 5日(月) 10(土) 11日(日)
・時 間 午前10時から午後5時まで

日時	種 目	会 場	主 管 団 体
3日 (土) 5日 (月)	美 術 展	展示室及び福祉会館 3階ロビー 展 示 室 会館第3集会室 会館第4集会室 福祉会館和室	福生美術研究所 福生美術同好会 彩 光 会 多摩水墨画会 堂田編物手芸会 パッチワークの会
	編 物 ・ 手 芸 展	福祉会館和室	酒井人形教室 西友木目込人形教室
	日 本 人 形 展	会館音楽室	霧 の 音 福生短歌会
	俳 句 ・ 短 歌 展	〃	友野手芸教室 パンフラワー(村野)
	フ ラ ワ ー 展	福祉会館第一会議室	恵フラワーデザインスクール くみひも同好会
	く み ひ も 展	福祉会館2階ロビー	ミシン刺しゅうJ・M会
	ミシン刺しゅう展	会館第3集会室	福生華道会
	華 道 展	福祉会館クラブ室	祥亭書塾 井上書道教室
	書 道 展	会館第4・5集会室	蒲公英書道会 静心書学会熊牛支部
		福祉会館ホール	中央書学院 仙水書道会 多摩書道会 山崎書道教室 さつき書道会
10日 11日	写 真 展	会館3階ロビー	福生写友会
	陶 芸 展	会館美術室	福生やこう会
	スクリーン印刷展	〃	スクリーン印刷
	木 彫 展	〃	市民文化教室
	消 費 者 展	福祉会館第二会議室	福生市消費者展実行委員会
	菊 花 展	会 館 前 庭	多摩秋盛會
	盆 栽 展	会館第1・2集会室	福生盆栽同好会
	さ つ き 展	福祉会館ロビー	福生さつき愛好会
	絵 本 原 画 展	福祉会館視聴覚室	市立図書館
	文 化 財 展	会館第8集会室	福生市文化財調査会
10日 11日	アマチュア無線公開運用	会館団体事務室	福生アマチュア無線クラブ
	盆 栽 展	展 示 室	日本盆栽協会福生支部

3,4,5 菊花展・むら人資料館
3日 チャリティーバザー

熊川神社
西武信用金庫別館

熊川神社
福生ライオネスクラブ

日程表 2 (演 示 関 係)

・演 示 日 11月3日・4日・5日・10日・11日

日	種 目	時 間	会 場	主 管 団 体
3 日 (土)	開 場 式	9 : 30	小 ホ - ル	本 部
	御 茶 席	10 : 00 ~ 15 : 00	第 6 ・ 7 集 会 室	福生茶道会
	日 本 舞 踊	11 : 00 ~ 17 : 00	大 ホ - ル	日本舞踊連盟
	詩 歌 吟 詠	10 : 00 ~ 17 : 00	小 ホ - ル	福生市吟詠連盟
	手 づ く り の 会	10 : 00 ~ 15 : 00	調理室・会館ロビー	福生手づくりの会
	市 民 将 棋 大 会	10 : 00 ~ 17 : 00	福 祉 会 館 大 広 間	日本将棋連盟福生支部
	ボー イ ス カ ウ ト	10 : 00 ~ 16 : 00	福 生 公 園 内	日本ボーイスカウト 福生第一団
4 日 (日)	民 踊	12 : 00 ~ 16 : 00	大 ホ - ル	福生市民踊連盟
	吹 奏 楽 演 奏	17 : 30 ~ 18 : 30	〃	福生第二中学校
	小 さ な 音 楽 会	18 : 30 ~ 20 : 30	〃	「小さな音楽会」 実行委員会
	民 謡	10 : 00 ~ 15 : 00	小 ホ - ル	福生民謡連盟
	8 ミ リ 映 画 上 映	13 : 00 ~ 16 : 00	公 民 館 視 聴 覚 室	市民文化教室
	ボー イ ス カ ウ ト	10 : 00 ~ 16 : 00	福 生 公 園 内	日本ボーイスカウト 福生第一団
	祭 囃 子	10 : 00 ~ 15 : 00	〃	福生市囃子連合会
5 日 (月)	フ ォ ー ク 合 唱 ジョイントコンサート	18 : 30 ~ 19 : 30	小 ホ - ル	二中フォークソング 合唱クラブ
10 日 (土)	バ レ エ	17 : 30 ~ 20 : 30	大 ホ - ル	栗林キミ子バレエ研究所
	映 画 鑑 賞	14 : 00 ~ 18 : 00	小 ホ - ル	福生親と子のよい映画 をみる会
11 日 (日)	バ レ エ	12 : 30 ~ 14 : 30	大 ホ - ル	久保バレエ研究所
	コー ラ ス と 管 楽	16 : 00 ~ 16 : 30	〃	市民コーラス
	アンサンブルの夕べ	16 : 30 ~ 17 : 00	〃	コールアンジェリカ
		17 : 00 ~ 17 : 30	〃	混声コーラス
		17 : 30 ~ 18 : 30	〃	福生吹奏楽愛好会
	三 曲 合 奏	12 : 00 ~ 16 : 30	小 ホ - ル	福生三曲協会
	市 民 囲 碁 大 会	10 : 00 ~ 17 : 00	第 6 ・ 7 集 会 室	日本棋院福生支部